

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 2 0 年 7 月 2 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 2 4 0 1 0 1 0
法人名	社会福祉法人 聖徳園
事業所名	グループホーム敬愛
所在地	枚方市香里ヶ丘 8 丁目 1 番地 (電 話) 0 7 2 - 8 6 0 - 3 7 7 5
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 0 年 6 月 1 8 日

【情報提供票より】(平成 2 0 年 5 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 2 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7 人
職員数	6 人	常勤 5 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	6 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	40,000 (一部のみ 44,000) 円	その他の経費 (月額)	1 9, 0 0 0 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	円
	夕食	円	円
	または 1 日当たり 1, 2 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 0 年 5 月 1 日現在)

利用者人数	7 名	男性 0 名	女性 7 名
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名
要介護 3	3 名	要介護 4	1 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 5 . 6 歳	最低 8 1 歳	最高 9 1 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	香里ヶ丘有恵会病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域で活躍してきた社会福祉法人が介護保険制度開始と同時に設立した 1 ユニット 7 人の家庭的なホームです。ホームは広々とした中庭に面しており、鍵をかけず自由に外へ出ることができます。利用者は職員とともにうさぎを飼ったり、野菜の収穫や草花の世話をしたり、積極的に外出して隣人との出会いを楽しんだり、ボランティアの協力を得て作品作りに取り組んだり、お祭りなど地域行事へ参加したり、利用者一人ひとりの好みや特技を活かした生活支援を行なっています。学童の登下校見守り隊に協力して小学生と仲良くなるなど自然な交流も見られます。利用者と職員が家族のように過ごし協力し合う状況や食事時にみんなで笑いころげて楽しんでいる姿が印象的です。2 年前に法人として ISO9001 (国際標準化機構) 認証取得を行い、自主管理を徹底していることもあり、当ホームが質の高いサービス提供を行っていること、合わせて記録書類等の管理が充実していることが大きな特徴で、今回の調査では改善する項目はありませんでした。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部 4)
	前回評価の改善課題は、1 項目だけでした。内容は家族への報告の項で、「個別金銭出納帳の家族了承押印はあるがサインがない」ということでした。評価終了後、すぐに改善に取り組み、今回調査時点では改善が終了しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部 4)
重点項目②	管理者は職員が外部評価の意義を理解するよう事前に研修を行っています。職員は外部評価の意義を理解した上で、全員参加で自己評価票を作成するなどの取り組みをしています。また、その経過については記録を残しています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部 4, 5, 6)
重点項目③	主な討議内容は 1) ホームからの行事報告、行事予定、災害時の備蓄、支援目標達成状況など。2) 地域委員からの報告 (認知症の相談が増加・後期高齢者医療研修、高齢者虐待防止研修報告など・地域夏祭りのお誘い・大阪府予算の縮小による地域への影響など) 3) 利用者家族からの提案 (体を動かすゲーム機の導入について・寄付の申し出・備品提供等について) などです。会議で出された意見はその都度サービスへ活かしています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部 7, 8)
重点項目④	毎月定期的に「えがお通信」を送付して、利用者の外出状況や体重の変化など詳細な生活状況を報告し、併せて金銭管理報告書を送付しています。ホーム内に「ご意見箱」を設置し、苦情相談担当者と苦情解決の流れを掲示しています。苦情はほとんどありませんが、出された場合は記録に残し速やかに解決しています。家族へ運営推進会議への参加を求め、大半の家族が参加され意見を出されるなど運営に関する家族意見の反映に取り組んでいます。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部 3)
重点項目④	近隣との付き合いは定着しています。地域行事への参加や交流会の催しなど、昨年は 5 回以上の実績があります。園児や学童、法人内施設との交流等を活発に行い利用者に喜ばれています。民生委員の呼びかけで、利用者は昨年に引き続き学童下校時の安全見守り活動に参加して、小学生との交流を深めています。また、地域ボランティアの協力を得て趣味活動をしています。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念は「人としての尊厳・人格が尊重 され、社会的な関係を保ちながらその人らし い生活を続けていただく」とし、地域社会と の関係を大切にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念や方針はホーム内に掲示しています。職 員は毎朝業務引継ぎ時に理念や方針を唱和し 共有しています。年度ごとに理念を具体化す る目標を掲げており、今年度の目標は①近隣、 地域との交流の機会確保②利用者ごとの外出 希望の確保です。また、業務の中で目標が達 成されているかどうかの自主点検等を行いな がら、実践を重ね、利用者や家族に喜ばれる 支援をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	創設から8年が経過し近隣との付き合いは定着しています。地域行事への参加や交流会の催しなど、昨年は5回以上の実績があります。園児や学童との交流を活発に行い利用者に喜ばれています。地域民生委員の呼びかけで、利用者は昨年に引き続き学童下校時の安全見守り活動に参加して、小学生と仲良くなるなど交流を深めています。また、地域ボランティアの協力を得て趣味活動をしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員が外部評価の意義を理解し改善に取り組めるように説明をしています。職員は外部評価の意義を理解した上で改善に取り組んでいます。また、今回の自己評価票作成については全職員が参加しており、取り組みの経過を記録として残しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定め、2カ月に1回、年6回の開催をしています。会議記録は整理し参加者、職員間で共有しています。会議には多くの利用者家族が積極的に参加しています。会議で出された意見については業務に反映しサービス向上を図っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故報告や外部評価結果の報告等についてはできるだけ早く市へ届けるようにしています。市役所へ出向く場合には担当者に相談をする、情報交換をするなど機会を有効に活用しています。地域包括支援センター職員とは運営推進会議の場だけではなく、研修や地域交流会等の場を通じて日常的な連携を深めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月定期的に「えがお通信」を送付して、利用者の外出状況や体重の変化など詳細な生活状況を報告すると同時に、金銭管理報告書を合わせて送付しています。面会時には介護計画書や介護提供状況の説明を行い、了承署名や押印をもらっています。個人金銭出納帳についても了承署名、押印があります。		
8	15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら積極的に意見や要望を聞くようにしています。また、家族に運営推進会議への出席を求め積極的な発言を得るなど家族意見の反映に取り組んでいます。ホーム内に「ご意見箱」を設置し、苦情相談担当者と苦情解決の流れを掲示しています。苦情はほとんどありませんが、出された場合は記録に残し速やかに解決しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間、職員の異動は行っていません。ほとんどが正規職員であり、安定したサービスを供給しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に関する年間計画を作成し、ほぼ予定通りの研修を行っています。一人ひとりの職員が必要な研修を受けられるように、受講に関しては業務としての位置づけを明確にしています。初任者に対する研修は着任直後に行うなど、それぞれの段階に応じた研修を的確に行なっています。また外部研修で学んだことを報告し、職員全員で共有できるように内部研修の場を設定しています。希望者には資格取得ができるように配慮するなど職員の育成を重視しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者はサービスの質の向上を図ることを目的とする同業者との交流や連携の必要性を強く認識しています。さらに大阪認知症高齢者グループホーム協議会の役員として先導的な役割を果たしています。管理者や職員は地域の同業者連絡会や研修会に参加し、積極的に情報交換をするなど相互に研鑽を行いながらサービスの質の向上に努めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して、納得した上でサービスを利用できるようにするため、入居待機者には事前にホームの見学・体験をすすめています。また、利用者の自宅にも事前訪問を行い支援内容の充実に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりがホーム内での役割を持って生き生きと活躍しています。職員は利用者から教えてもらうことも多く、助けあう関係を大切にしています。時には困りごとの相談をしたり、楽しみごとを共有したりして喜怒哀楽をともにしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何かを行う場合には必ず利用者本人の希望や意向を確認し尊重しています。今年度の目標として希望外出支援がありますが、一人ひとりに外出したい場所や内容等を確認し、希望に添った外出支援を企画・実行しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを的確に行っており、利用者の求めていることや家族の願いを反映した介護計画書を作成しています。職員は「利用者に適した支援は何か」を把握するために、最低月1回はケアカンファレンスを行い、記録を残しています。また職員間で日常的に意見交換や情報交換をしながら、介護計画書に連動したケア実践と記録をしています。介護計画書は利用者、家族等への説明を行った上で署名・押印をもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行っています。見直し時期以外にも必要があれば速やかに見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。適宜、アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を作成し職員間で共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人訪問看護ステーションとの連携で、利用者の状態に必要な看護、指導を受けています。急な受診の場合や家族の都合が付かない場合には通院介助を行っています。栄養に関する相談等については同法人管理栄養士の助言や指導を受けています。また、リハビリが必要な利用者については同法人の言語聴覚士・理学療法士・作業療法士の助言を得ています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれの、かかりつけ医療機関で引き続き医療が受けられるように、一人ひとりの希望を尊重した支援をしています。受診方法や結果の報告、共有などについても希望に応じて対応しています。協力医療機関との連携を強化して夜間や急変時の対応については速やかに対応できるよう体制整備をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重要事項説明書等で、基本的には身辺自立のできなくなった利用者や入院を要する利用者は退居とする方針について了解を得ています。状態が急変した場合にはその都度、利用者・家族等の意向を確認しながら希望に添った対応をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にした対応や言葉かけをしています。個人情報の取り扱いについては文書を定め、採用時には研修を行い守秘義務の徹底をすると同時に採用時契約事項として署名捺印をもらっています。また、定めた文書については職員にも配布し重ねて周知・徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが自分のペースで、好きなことができるように配慮しています。ホームの大まかな日課はありますが、利用者の体調や気分に合わせて支援をしています。特に食事時間等は周囲に影響されず、時間をかけてゆっくり食べられるように配慮しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週2回は利用者と献立を考え、食材の買い物から一緒にしながら食事作りの課程を楽しんでいます。職員は利用者と同じ食事を味わい、会話を楽しみながら、一人ひとりに合わせた細やかな支援をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、2日に1回の割合で入浴支援をしています。希望すれば毎日でも入浴できますが、今のところ希望者はありません。お風呂を好まない利用者もありますが、バラの花など香りのよい花を浮かべて変わり湯にすることで、無理なく楽しみながら入浴ができるようにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームで飼っているうさぎの世話、観葉植物や中庭の草花の手入れ、野菜作り、食事の準備や片付けなど利用者は自分の得意なことで役割を発揮しています。また、職員は外出、ドライブ、外食、買物、園児など子どもとのふれあい、図書館の活用、刺繍や絵画など、利用者の意向を確認しながら楽しみごとや気晴らしの支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の外出以外にも希望の場所へ外出できるように、職員が利用者一人ひとりに、どこへ行きたいかなどの希望を聞き個人目標として実現しています。1回の外出時間には15分から3時間というように幅はありますが、月ごとに外出先や時間の記録を行い「えがお通信」に載せて家族へ送付しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や中庭に面した自室のドア、門扉にも鍵はかけていません。利用者は自由に戸外へ出ることができます。利用者が外へ出たい場合には職員が意向を察知して同伴するようにしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成しています。消防署の協力を得て年2回の消防、避難訓練を行っており、非常口の確認や誘導場所など利用者と共に取り組んでいます。また災害の際には近隣からの支援を求める働きかけもしています。非常用食料品と水の備蓄については最低2日分以上の確保をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量の把握、記載をしています。法人で一括して副食作りを行い分配している状況ですが、週2回ホーム独自で作る献立については同法人所属の管理栄養士や看護師の助言を受けています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分はゆったりとして家庭的です。居間にはソファを置き、玄関や廊下にはイスを置き利用者がゆっくりできる居場所を確保しています。トイレ、洗面台は車イスでも対応できるようにしています。ホームには観葉植物や花を置き、中庭には草花や胡瓜などの作物を植え、緑がいっぱい季節感あふれる生活空間を設けています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は全室中庭に面して造られ、引き戸を開けると緑いっぱいの中庭に出られます。利用者は居室になじみの机、イス、タンス、衣装ケース、テレビ、写真、時計、などを置き、手作りに作品を飾るなど個性的で清潔感のある居室にしています。		